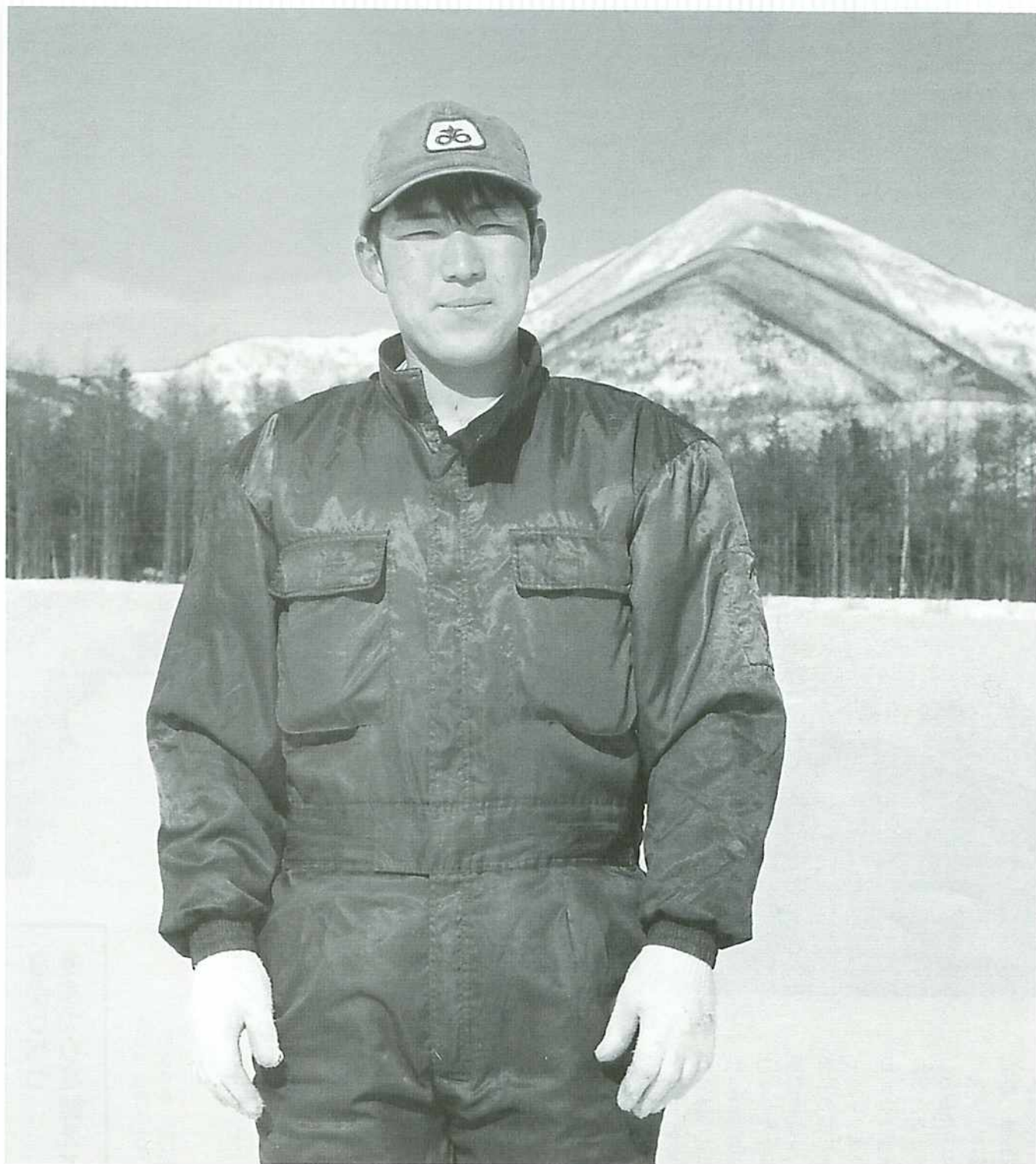


あなたとJAをおすぶ情報誌

なかしべつ

2003
3月
No.339

「家族で時間に余裕のある酪農経営をしていきたい」と林 直樹さん。





すべり台、ジャンボサッカーに、 子供達の笑顔がはじける。



カー・雪上クイズかるた、文化会館内ではヨサコイなどのイベントが続き、午後五時から開会式、雪像入賞発表、花火大会が行われました。また、農協職員の協力をいただき、夕方の活動も行うことができました。前年の倍以上用意した「ジャンボ牛串」も二日目の昼過ぎには売り切れとなりました。この場を借り、協力してくださった青年部員の皆様、農協職員の皆様に感謝を申し上げます。



青年部、婦人部の出店も大にぎわい。

二月八日、九日の両日、毎年恒例のなかしべつ冬まつりに消費拡大委員会は、中標津牛乳を使った「ホットミルク」、「ホットココア」、そして当委員会オリジナルヒット商品「ジャンボ牛串」を販売しました。当日は天候に恵まれ、会場には大小の雪像が並び、雪上ジャンボサツ

なかしべつ
冬まつりを終えて

青年部消費拡大委員会
副委員長 板橋 匠



二月十六日、毎年恒例となった「開陽台自作ソリ大会」が、開陽台育成牧場内特設会場にて行われました。

第15回

開陽台自作ソリ大会

青年部開陽支部
桜井 寿治

エントリは少なかつたものの、多くの観客の声援で盛りあがりました。

前日の午前中より青年部員は会場とコース造りを手伝い、大会当日は競技の運営にあたりました。大会前日のコース造りでは、競技の見せ場であるジャンプ台作りに力が入り、青年部員自らチューブやママさんソリに乗り安全性・難易度・飛距離を体を張って確かめました。

大会前日の夜には、実行委員会だけの前夜祭が開かれ、競技コースの最終チェックと言える「開チューブ」が今年も行われました。これは、高校・一般の部と同じスタート地点から、三百メートルのコースを滑り降りて来るもの。昨年は青年部員の一人が助骨にヒビが入るアクシデントもありましたが、今年はケガ人もなく無事安全な競技コースが完成されました。

大会当日、昨年は三十台のソリがエントリされましたが、今年は十七台。ですが、大会は例年と変わらず盛り上がり、大勢の観客の声援が飛び交っていました。

全てのプログラムを終え、大会事務所であつ



たプレハブから、「第十五回開陽台自作ソリ大会」の看板が降ろされると、青年部員たちは、いつも以上に安堵の表情が見られました。なん

研究題名「チャレンジ! 集約放牧」

地元、基幹産業の酪農発展に 貢献していきたい。

乳生産だけを優先にして、草食動物である乳牛に肉骨粉や濃厚飼料を多給する、酪農経営に疑問を持つ生徒。そして、その弊害として発生した「BSE」。それ以来、酪農を取り巻く環境は最悪の事態となり、後継者になるべきか、ならざるべきか悩む生徒達。

そこで、濃厚飼料を極力減らした放牧型酪農の実現を目指し、プロジェクト活動を開始。

内容としては、定置放牧と集約放牧の違いについて学習し、実際に十四牧区の放牧地を作成し放牧を開始。また、根拠農業試験場と共同で、放牧地の簡易更新のプロジェクトも実施。

経営考察では、乳量アップをもたらし、活動目標でもあった濃厚飼料削減にも成功。結果的に収入の増加につながったと報告しています。次年度は放牧草の品種選定と、草地更新の継続調査及び放牧による労働時間の短縮調査を続けたいと意欲的です。

「私達の研究が、多くの酪農家が抱えている放牧に対する不安の解消に、少しでも役立つよう、また、全国でも有数の酪農王国〔中標津町〕の産業発展のために貢献したい」と結んでいます。

- 平成14年度 日本学校農業クラブ 北海道連盟主催の2大会で「優秀賞」を受賞
- 東北道実績発表大会「優秀賞」受賞
- 全道実績発表大会「優秀賞」受賞

農業後継者コメント

三年 保科 斉 (JA中標津・俣落)

酪農分会分会長

で宜しくお願い致します。

高校卒業後、ファム・エイさんで酪農ヘルパーとして働きながら、酪農についての知識や技術を習得したいと思います。そして、将来の酪農経営に役立てたいです。

三年 奥田悠平

(JA中標津・当幌)

四月からは各農家さんでお世話になります。一生懸命頑張ります。

私は高校卒業後、すぐに酪農自営をしますが、高校で学んだ集約的な放牧や、牛舎環境改善・蹄病予防などをいかして、今後の酪農経営に役立てて行きたいです。



前列左・奥田悠平さん、左から2人目・保科 斉さん

今だからこそ繁殖管理！

家畜改良課より

冬も終わりに近付いていき、後は春の到来を待つだけです♪
 しかしながら皆さん税金などで忙しい毎日を送っていることでしょう。
 今回は年度末も近いということで、繁殖成績について考えていきたいと思います。



発情発見率 ÷ 授精回数 ÷ 理論的な発情回数

理論的発情回数とは、繁殖対象牛、

繁殖成績は、「発情発見率」と「受胎率」、そして「任意待機期間（VWP）」の三つの数字で推測することができます。
 「受胎率」は、様々な要因が影響を与えると考えられるため、VWPと共に、ほぼ固定された数値として考えられます。ですから、繁殖成績は主に「発情発見率」によって変化していると言えます。
 では具体的に発情発見率やVWPとは、どういうものなのでしょう？

つまり分娩後の任意待機期間を過ぎた牛について、VWP後から最終授精日までの経過日数を累計し、発情周期（二十ないし二十一）で除した数に一（最初に一回あるので）を加えたもの。授精のないものは、現時点までの経過日数を累計します。よって、妊否には関係なく計算できます。

〈計算例〉

牛A：最終授精＝分娩後160日（3回目）

牛B：最終授精＝分娩後140日（2回目）

VWP60日、発情周期20日として、発情発見率は？

$$5 \div \left\{ (160 - 60) + (140 - 60) \div 20 \right\} + 1 \times 100 = 50\%$$

任意待機期間(VWP)＝分娩後、初回授精
 までにかかる目標日数

繁殖対象外牛は除外する

分娩後しばらくは、負のエネルギーバランスが続くため、その期間を繁殖対象から除外します。任意待機期間を適正に取ることで、期待されるピーク乳量や持続性を得ることができます。二産以上は六十日、初産は八十日が標準とされています。

「発情発見率」が低下すると、平均空胎日数が伸び、つまり搾乳日数が延長します。このことは、泌乳最盛期を過ぎた搾乳効率の悪い期間が延長することであり、これを経済的損失として計算します。一般的には、搾乳日数一日延長で、○・○七割／日の乳量の減少があると言われています。

いかがでしたでしょうか？ 発情発見率は出来れば七〇割以上を目指したいものです。そのために、まずは異常かな？ と思った牛がいるのなら、積極的に我々授精師や獣医さんにみせていきましょう！

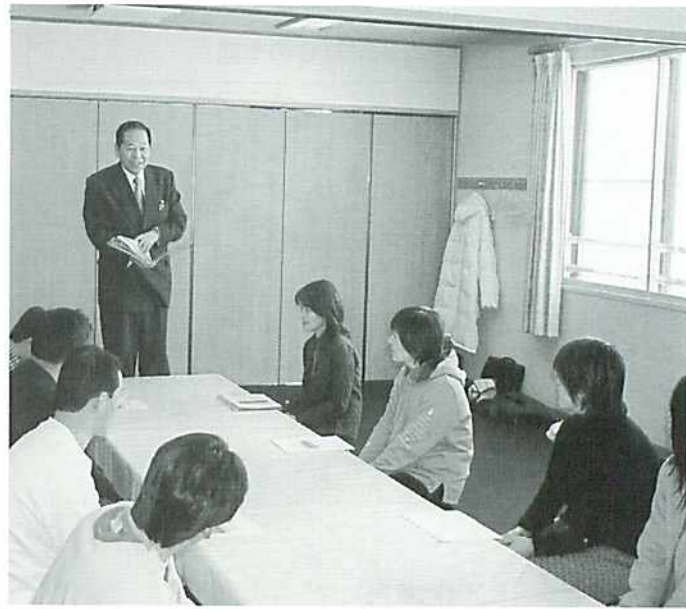
それでは次回は、発情発見率と共に繁殖成績に重要な要因といわれている「妊娠率」について、お話していきたいと思っています。

冬季交流会開催

JA中標津農業後継者結婚対策協議会

中標津町農業後継者結婚対策協議会主催による、酪農青年の冬季交流会が、2月14日～16日開催されました。

出合いの きっかけを大切に。



今回の交流会は、関東地区を中心に女性を募集し、五人が参加、男性は中標津三人、計根別二人の五人が参加しました。

十四日、東京からの直行便で女性の中標津空港に到着。主会場であるマルエー温泉ホテルへ移動。会場ではすでに、男性全員が集合、早速自己紹介から交流会のスタートとなりました。

自己紹介後、酪農の事や、中標津の事を少し知ってもらおうと、佐藤 拓、杉本匡視結婚対策専門相談員から町の紹介、酪農の話の講話が行われ、その後、ちよっと緊張ぎみの中で、個人ヒヤリングを実施。

午後からは、JA中標津「クレエ」で食品加工体験。パン、アイスクリーム、芋団子、バター作りなど、男女共同作業で交流を深めました。

午後七時三十分からは、歓迎交流パーティーを開催。早朝からのフライトで、女性は多少疲れぎみでしたが、二次会、三次会と男性のリードで、最後は午前一時三十分とか？

翌日は、第二回目の個人ヒヤリングからスタート。前日の緊張感とは別にかなりうち解けたムード。

その後、ボウリング交流、昼食にはウエスタンにて、バーベキュー交流。この頃になると、この二人はいい雰囲気かなと思わせる感の行動もちらほら。午後二時、女性はファーム

ムステイへ出発。

いよいよ最終日、女性はファームステイを終え、楽しかったの連発で集合。いよいよマッチング用紙の回収。結果は秘密ですが、女性は男性の車に分乗し、開陽台の自作ソリ大会会場へ。ここからは、飛行機のフライト時間までフリー時間となり、摩周湖や、標津へ流水を見に行ったカップルもいたと聞きました。

午後三時二十分、女性を乗せた飛行機は、定刻通りにフライト。交流会の全日程を終了しました。

しかし、これからが始まりであり、この出合いを切っ掛けに実際に向けて頑張っていたいだきたいものです。



健康管理の講習を笑いを交えて楽しく学びました。

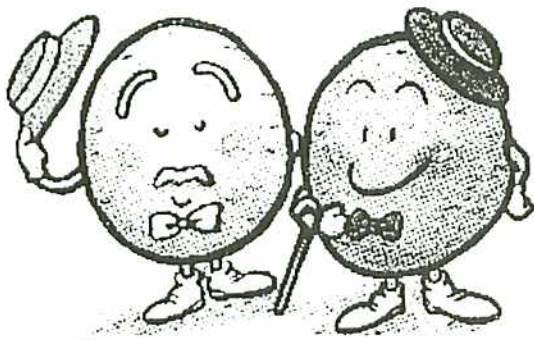
熟年会冬期研修旅行



来年も健康に留意して、元気に多くの皆さんが参加してくれますことを楽しみにしています。

翌日は、川湯ゲートボール場にて同大会、ホテル内ではハッピーボーリング、スカットボール、カラオケなど楽しみ、宴会の席では各大会の表彰式が行われました。

熟年会冬期研修旅行が三月三日より五日まで、二泊三日の日程で「川湯ケランドホテル」で開催されました。当日は、天候に恵まれ八十四人がバス三台に分かれホテルに到着。昼食後、保健センター・保健師の中納さんを講師に「健康管理について」学び、皆さん笑いを交えて楽しく熱心に聞き入っていました。宴会時には参加者の中から今年八十歳を迎える方(五人)と、未成年生まれ(四人)の方々にホテルより記念品がプレゼントされました。



マリンスファーム

ようこそマリンスファームのホームページへ

北海道なかしべつ

北海道の東の中標津という所で、ジャガイモを生産している農家のグループです。

周りは酪農が多く、乳牛がいっぱい飼われていますが、その中の一部で畑作農業が営まれています。年間の平均気温は低いのですが、有機質が簡単に手に入り、秋には美味しいジャガイモがたっくさん収穫できます。

インターネットを始めて間もなくの頃、簡単なホームページを開いたことがありました。開いたというだけで更新もせず、そのままにしていたらOCNのホームページサービスが変わるといふことで、無くなってしまいました。その時の経験をもとに、ホームページ再挑戦です。

ページ上からもジャガイモが買えますし、掲示板なんかも作ってみました。楽しいページになればいいなあ~と思っていますので、気のついた点があればメールでも送ってください。掲示板で楽しいコメントやメッセージ待ってます。西崎 敬造

<http://www.aurens.or.jp/~malince/index.htm>



畑のあちこち

畑の様子を載せました



みんなの顔

メンバーの紹介です



ジャガイモころころ

ジャガイモの紹介通販コーナー



伝言板

楽しいメッセージ待ってます



クッキング

とっても美味しいレシピ



ズレないように丁寧に…！



私の方が力もち！

女性部
青葉会
冬の集い

寒い冬は 手先も体も動かそう！

二月十九日、女性部青葉会冬の集いが、マルエー温泉ホテルで行われ、十三人の部員が参加しました。

今回の企画は、寒い冬に手先も体も動かして、更に温泉に入ってなまめりかけた？ 体を解かそうと企画されました。

午前中は、和紙工芸教室を行い、普段の来客時にもちよつとしたもてなしができるようにと、菓子器・茶たくを作りました。久しぶりに手先を細かく動かす参加者もあり、眼鏡

を上げながらも？ 丁寧に作りました。

昼食をはさみ午後からは、毎回部員の皆さんが楽しみにしている、会長の田代さんが考案するゲームなどで盛り上がり、頭から足の指先まで動かしながらも、和やかに、且つ楽しく、充実した一日となりました。

女性部役員
支部長
反省会

二月二十六日、JA農業農村交流施設に於いて、平成十四年度女性部役員・支部長研修会及び反省会が行われ、十六人の役員などが参加いたしました。

役員・支部長の特典となっている研修会は、今年も新施設クレエの加工体験室で、シフォンケーキ作りを行い、自宅へのお土産ができて上がりました。また、余った材料を利用して即興メニューでケーキを作るなど、楽しい研修会となりました。

終了後は研修室で、昼食と慰労を兼ねた会食を済ませ、平成十四年度活動の反省会を行いました。年度当初、クレエの完成を予定して組まれた事業計画など、若干の工期の遅れにより事業計画が多少見送りということがありましたが、来年度こそは施設を有効に利用した活動、福祉・奉仕活動などの取り組みの話、新しい活動の取り入れ方など、お互いの労をねぎらいながらも活発な意見・反省点が出されました。

次年度は、女性部創立五十周年という記念すべき年を迎え、この反省点などを踏まえた、また一歩前進する女性活動が期待できるのではない

創立50周年を迎える 次年度活動に好期待。



シフォンケーキの要
「卵」を約80個ひたすら割ります

でしょうか。
役員・支部長の皆様、一年間ご苦労様でした。

●事務連絡

女性部創立五十周年に係わる行事については、左記の通りとなっておりますので、たくさんの方の部員の皆様に参加をお願いします。

- ①平成十五年三月十八日午前十一時
第五十回通常総会・記念講演
場所：中標津町総合文化会館
- ②平成十五年十一月十一日午前十時
JA中標津女性部
創立五十周年記念式典
場所：寿宴

JA中標津
食品加工
交流部

心のこもった温かい 味を地域住民に。

二月八日、なかしべつ冬まつりに於いて、食品加工交流部会初のイベント参加で「おしるこ」を販売し、前日準備と当日合わせ二十人の部会員が参加協力しました。

材料などは、あるるよりご提供いただき、小豆からゆっくり煮込んだ汁に、おもちをたっぷり入れたその味は格別で、一杯食べて「美味しいから」と、タッパを持参して買ってくるお客さんもいたほどで、また、子供のおこづかいでも食べられる安

さも手伝ってか、一日で約五百杯を販売しました。

インスタント、コンビニ時代の最近のおしるこの傾向としては、練りあんを溶いただけの汁が多いようですが、当交流部会は道産小豆を使つて、少しでも手を掛けた本物の味！心のこもった温かい味！を地域住民に伝えたいと考え、その気持ちは買い求めるお客さんに届いたのではないのでしょうか。

当交流部会は今後も「地産地消」を目指し、手作りの味の加工食品な



どを地域の皆さんに広めていきたいと思しますので、今後の活動にご期待下さい。

農業農村交流施設クレシエの 利用申し込み

すでに一月より、組合員の皆様にご利用いただいておりますが、四月一日～六月末日までの交流施設利用申込みについて、随時受け付けを開始します。

●利用申込みについて

●利用受付期間
平成十五年四月一日～六月末日分
まで随時

●受付方法及び時間

電話による受付

(農協企画課 2-3721)

午前八時四十五分～午後五時まで

●利用場所

研修室及び加工体験室

●利用料

一人四百円

※基本原則として、当日中に現金

にて精算のこと

※材料などにかかる費用は自費

●利用時間及び休館日

時間 午前九時～午後五時

休館日 日曜・祝日及び法律に規定する休日・農協休業日

●利用制限

当農協組合員(家族含む)を必ず含む

※施設内機械などの使用方法が解らない場合は、ご相談下さい。

●賠償責任

建物・設備・備品などの破損・減

失の場合は、損害分を賠償していただきます。

●遵守事項

① 所定の場所以外での喫煙・火気は厳禁

② 使用後の清掃・整理・ゴミ処理は必ず各自行う

③ 使用後の報告・確認必ず行う

●その他 ご不明な点は、申込み時にご確認下さい。

★詳細は、農協経営企画課鈴木まで(電話2-3721番)お問い合わせ下さい。



～おしるこを味わう女性部員たち～

アイドル IDOL



大家族みんなに可愛がって

もらっている「宝坊」の陸くん!

寒さも少し緩み、春の訪れが感じられる今月の人気者は、一人遊びも上手になって、今一番動くことが楽しいという、武佐地区・石橋真徳さん宅・長男・陸くんです。

お姉ちゃんの真弥華ちゃん・茉那美ちゃんが保育所のお休みの日にお邪魔したところ、お姉ちゃん達の陰に隠れながらも、元気良く玄関まで駆け寄って出迎えてくれました。

普段の陸くんは？ というところ、車に乗って遊んだり、絵本を見たり、テレビなどで、マンガから演歌までとにかく曲がかかるのと踊り出したりと、軽快に動きまわっているそうです。それから、いつも可愛がってくれる大好きなお姉ちゃん達のやることは、何でもやってみようとしたり、お姉ちゃん達の保育所へ行く時間になると我先に、行かなくちゃ！ と準備したりと、とにかくお姉ちゃん達が大好き。だからなのか？ お姉ちゃん達が風邪をひけば、ちゃんとして最後にひいたり、とにかくいつもまねっこなんだって！（笑）。そんな陸くんの秘密を、おばあちゃんがこっそり教えてくれたのですが、まだまだママのお

っぱいが恋しくなることが多いあるとか？（取材当日も少しだけ恋しがってました！笑）さて、パパとママにこれからの陸くんに期待することは？と尋ねると、パパは「男の子だから、ママの希望を叶えてくれれば…」と、素敵なお答えをいただきました。

パパとママはもちろん、大おじいちゃんに大おばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、お姉ちゃん達とみんなに「宝坊」と言われ？ 可愛がってもらっている正真正正大家族の人気者！陸くん！ その大きな期待を背負って、ママの希望を叶えてあげてね！



石橋 陸くん

いしばし りく
2001年11月10日
石橋真徳・純美さん夫妻の
長男として生まれる。

畜農技術

乳牛の心理を考えよう 採食量について

北根室地区農業改良普及センター

乳牛が、計算通りに飼料を採食してくれないのは、よく聞く話です。しかし、食べないのには理由があるはずで

過去、様々な店で食事をした経験をお持ちでしょう。その中で、「この店には二度と来ないぞ」と思った経験はないでしょうか。この状況を乳牛に当てはめると、乳牛の心理が理解できます。

一、まずい。嫌いな物が入っている

TMRでも完全には解消できません。素材が命なのは飼料も一緒です。良質な粗飼料や、し好性の高い飼料を確保しましょう。

二、材料が古い

乾いたり、変敗したエサは採食量が減少します。特に夏は、給与回数の増加、エサ押しで乳牛の採食意欲を向上させる等の工夫が大切です。

三、居心地が悪い

床が滑りやすい、飼槽が高い（または低い）ので食べにくい、隣に強い牛が居て邪魔されるなど、様々な要因があります。

食べやすい場所にエサ押しをする、スタンションやネットレールの自由度を高くするなどの工夫で対応しましょう。

特に初産牛は、首が短くエサに届

きにくく、また負け牛になりやすい事から注意が必要です。観察や初産牛の乳検成績から確認しましょう。乳牛の強弱（負け牛）は、繋ぐ場所を変えたり、フリーストールでは、バンクスペース（二頭当りの飼槽幅）を広く取ることに対応しましょう。床や飼槽は、程度により改修も考えましょう。新築の際には、特に注意したい部分です。

四、店が遠い（歩くのに疲れる）

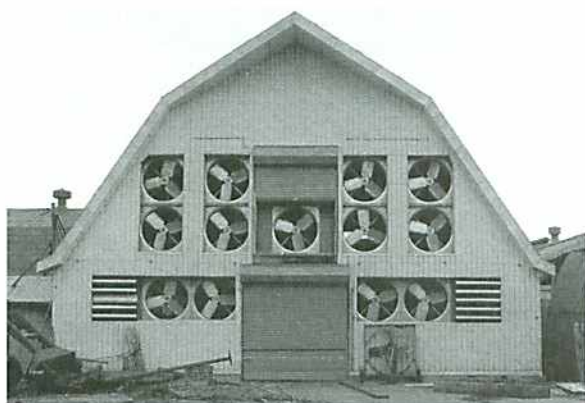
飼槽まで歩く距離が遠いと、エサを食べに行く回数が減少します。施設のレイアウトが良好な場合、乳牛は一日に十二〜十三回、飼槽に

行きます。良好でない場合、回数が減ったり、飼槽の近くに立ちっぱなしになり、産乳量が低下します。

換気不良や飲水量が少ない場合、写真一、二のような対策があります。人間も乳牛も同じ動物ですので、以上のように、自分の経験を乳牛に当てはめ、不具合の理由を考えることができます。

採食や横臥などの行動パターンや、気温などの環境要因は人間と若干の違いがあるものの、基本的な考え方は一緒と考えて良いでしょう。乳牛の観察による、様々な不具合の解消は、採食量の向上につながります。

写真1 トンネル換気の例



新鮮な空気は、暑熱対策だけでなく、食欲も増進させます

写真2 連続水槽の例



新鮮な水を、いつでも十分に飲める環境は採食量の向上につながります



アウトドアが趣味の直樹さん。 頼りがいのある存在です。

武佐地区 林 直樹さん(24歳)



今回ご紹介するのは林直樹さんです。直樹さんは標茶町内で生まれ、その後、中標津に移り、祖母、両親との四人で暮らしています。牧場は約百頭前後の乳牛を飼育しています。高校時代は陸上部に入り、砲丸投げで全道大会に三度出場した事があるそうです。卒業後は、北海道農業大学校に進学、二年間勉強して人工授精師などの資格を取得。毎日、学校の授業を終えた後、酪農家へ搾乳のアルバイトにも行った頑張りやさん。卒業後は、実家に戻り家族と共に働き、青年ヘルパーとしても活躍しています。

趣味はアウトドアが中心で、釣りやモータースポーツも好きで、冬はスノーモービルを仲間と一緒に乗りに行ったりしています。

今後の目標は、「家族で時間にゆとりのある酪農経営をしていきたい」とのことでした。

青年部武佐支部では会計もつとめ、しっかりとした面も見せ、大きな体とともに頼りになる存在です。

(青年部調査・広報委員会 川上 秀明)



暮らしの知恵袋

春先にかけての食中毒に気を付けて

北根室地区農業改良普及センター

食中毒といえば夏場が発生のピークですが、秋から春にかけて多く発生する食中毒があります。小型球形ウイルス(SRSV)によるものです。SRSVは主にカキなどの二枚貝の中に蓄積されるため、カキの消費が増えるこの時期に食中毒が発生します。

一、肉眼では見えない SRSV

SRSVは英語でSmall(小さな)Round(球形の)Structured(構造をした)Virus(ウイルス)の頭文字をとったものです。電子顕微鏡を使わないとみえなくらい小さいものです。

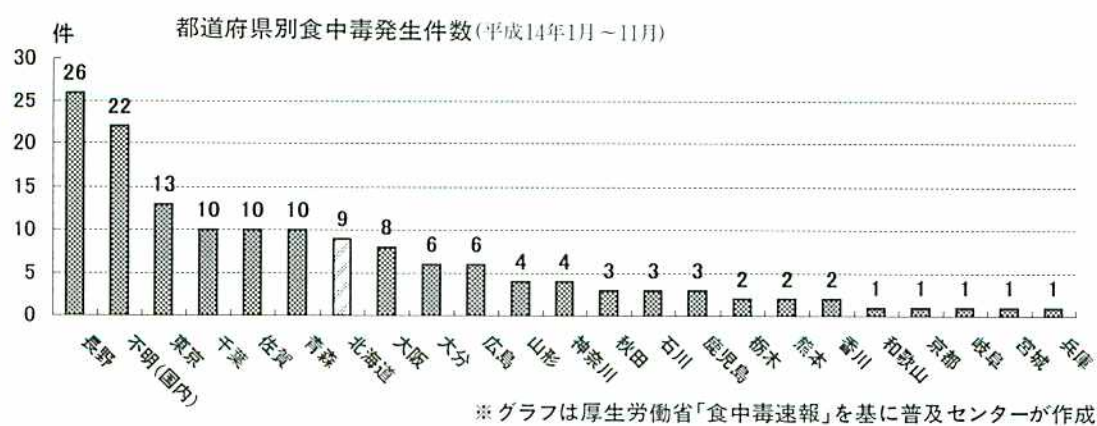
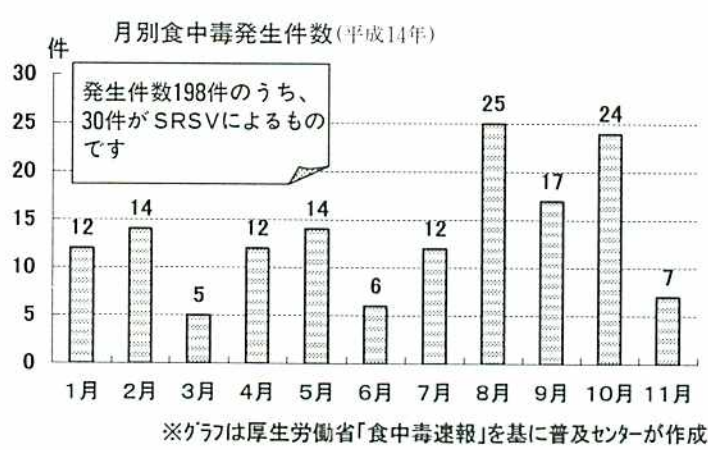
二、症状は？

通常は食事の一日二日後に吐き気や嘔吐、腹痛、下痢、発熱などの症状が現れます。三日ほどで回復するといわれていますが、免疫力の弱い幼児や高齢者は症状が重くなる場合がありますので、注意が必要です。

三、予防法は？

① SRSVは比較的熱に弱いため、

食品(特にカキなどの二枚貝)は十分加熱しましょう。
② 人の手や調理器具を介して、SRSVが他の食品を汚染することがあります。カキを扱った手は良く洗い、使用した器具類は洗浄後、熱湯で消毒しましょう。



JA根室地区
青年部
幹部研修

農水省事務担当者 との意見交換会。

青年部副部長 西垣 努

二月五日〜七日に、根室地区青年部幹部研修が開催されました。

今回は、発着が釧路という事で、ハードなスケジュールとなり、農水との意見交換会は時間も少なく、こちらの質問などが出来なく、満足出来る交換になりませんでした。その



せいもあってか、懇親会では、BSE、ヘルパーなどの意見が交わされるなど、盛り上がりを見せられました。

視察研修の視察場所は茨城のJETFファームを視察し、規模の大きさに圧倒され、これからの中標津の酪農風景を思わせる光景でした。

今回の、幹部研修は移動時間が長く、参加者にとっては少々大変な視察となりましたが、いい思い出を胸に、皆無事に帰って来ました。



農協理事者との懇談会を終えて。

青年部部长 佐々木大輔

去る二月四日、恒例となった青年部と農協理事者との懇談会を開催いたしました。

今回は「青年部綱領について」というテーマを設け、青年部、または地域の先輩として、理事者の方々に提言をいただきました。

由としては、身近ではあっても、以外と内容までは気にした事がない。しかし、我々青年部員が活動していく上で、非常に大事な事であると思ったからです。

今回このテーマを選んだ理

各地区それぞれ懇談内容の報告を聞きました



が、どの地区でも部員からの積極的な発言が少なく、理事者から指摘があった様です。また、懇談会のあり方をもう一度考えてみては？との意見もいただきました。各地区の内容には触れませんが、今一度、理事者からの提言、そして青年部綱領というものを、それぞれが見つめ直し、これからの自分の経営、また、青年部活動に役立てて欲しいと思います。

第十三回理事会の経過

容方法書附属規程)の制定について

九、紛争処理規程(業務内容方法書附属規程)の制定について

十、顧客資産の分別保管に関する規程(業務内容方法書添付規程)の変更について

十一、農業生産法人の組合員加入と出資金について

十二、中標津町農協担い手創出協議会基金について

十三、各種資金の借入申込について

〈協議事項〉
一、地区別懇談会の日程と議題について

二、役員選任実施日程について

三、役員賠償責任保険の加入について

〈報告事項〉
一、平成十四年度一月末購買事業概況について

二、平成十四年度一月末生活事業概況について

三、平成十四年度一月末信用・共済事業概況について

四、雪害の状況について
五、宇都宮賞受賞に伴う祝賀会の開催について

3カ月予報

向こう三カ月の天候

三カ月平均気温は、平年並が高い可能性が大きく、その確率はそれぞれ四〇割です。

可能性の大きな天候の見通し

三月

天気は周期的に変わるとは、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となりますが、長続きしないでしょう。

気温は高い見込みです。

四月

天気は周期的に変わるとは、気温は平年並の見込みです。

気温は平年並の見込みです。

五月

天気は周期的に変わるとは、気温は平年並の見込みです。

気温は平年並の見込みです。

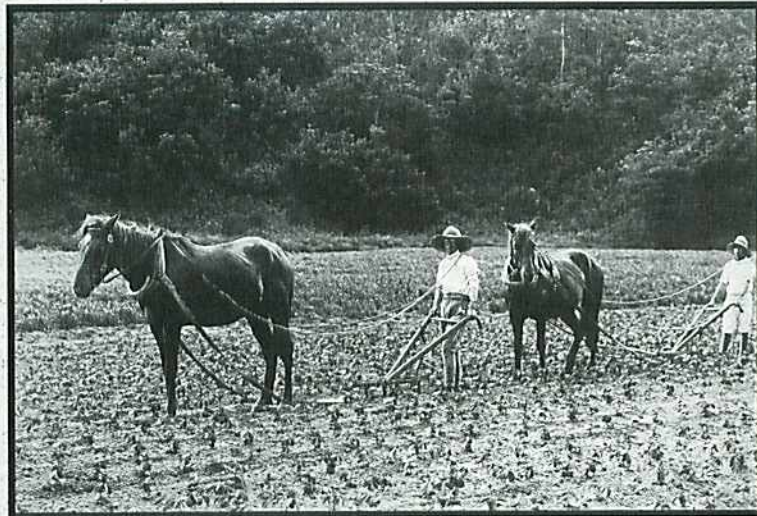
三カ月間降水量は平年並でしよう。

2月の組合日誌

- 3日 自治監査～6日
中標津乳牛改良同志会定期総会
- 4日 証券外務員研修会
- 6日 振興計画畑作部会
- 7日 酪農実習生受入協議会役員会
乳検新規加入促進座談会
牛群管理プログラム研修会
融資協議
- 8日 中標津農民連盟総会
釧根農民連盟総会
- 10日 農業振興計画酪農肉牛部会
農業簿記研修会
- 13日 農業振興計画生活・環境・担い手部会
- 14日 課税対策委員会
- 17日 農協職員採用試験
第1回乳牛改良同志会役員会
- 18日 第6回熟年会役員会
- 20日 ルーキーズカレッジ意見交換会
中標津ETA勉強会
第8回青年部調査広報委員会
- 21日 共進会代表者会議
第12回青年部役員会
- 22日 第6回畑対総会
- 24日 農協職員採用面接試験
酪総研運営委員会
第2回役員協議会
てん菜振興会役員会
- 25日 エゾシカ対策協議
- 27日 第4回管理購買委員会
中山間事業役員会
- 28日 第13回理事会
中標津乳牛改良同志会講習会



懐しき古き一枚の写真



タイトル通りの懐しき古き1枚の写真です。
昭和20年代前半、終戦前のカルチベーターによる、ウネ起こしの農作業風景。
今では小豆の作付は根室地方では行われませんが、終戦前～昭和30年頃までは、ご覧のように小豆、大豆の作付がされていました。今より暖かかったのでしょうか。その後、冷害などによりこの地方からは豆類の作付はみられなくなりました。

写真提供 藤井 弘美氏